

## 基礎・経済統計 4 補遺 1

### 統計の初歩

## 標本数とはいわない

- 標本数とはいわないようです
  - 観測数
  - 標本の大きさ
  - 標本サイズ

2

## データの尺度と代表値(1)

- 尺度
  - データに何らかの値を対応させる基準
- 名義尺度
  - 質的なもの(カテゴリー)に対して単に数値を割り振ったもの(自然数が多い)
  - 値の差も順序も意味を持たない
    - 統計処理においては、1, 0の数値の組み合わせとして処理
    - 例:
      - 日本
      - アジアの国:1, そうでない国:0では, 1
      - 先進国:1, そうでない国:0では1
  - データの中心に関する代表値としては最頻値しか意味を持たない

3

## データの尺度と代表値(2)

- 順序尺度
  - 値の順序にのみ意味があるもの
    - 一般に自然数が割り振られる。
  - 平均は意味を持たない
  - 例: アンケートの回答に順序に応じて数字を対応させた場合
  - 最頻値, 中央値は意味を持つ

4

## データの尺度と代表値(3)

- 間隔尺度
  - 値の差には意味があるが, 値そのものの比には意味がないもの
    - 値の差同士の比率には意味がある
  - 最頻値, 中央値, 平均値, 分散などほとんどの代表値が意味を持つ
  - アンケート調査の結果の数字をこれと考える場合もある。

5

## データの尺度と代表値(4)

- 比尺度
  - 値の比・差ともに意味のある尺度
  - 物価指数, GDPデフレーターなどの指数
  - すべての代表値に意味がある
- 絶対尺度
  - 値そのものの大きさに意味がある尺度
  - 経済の多くのデータはこれに当たる
  - 全ての代表値に意味がある

6